

2019暴力・暴言根絶に向けた 「サッカーファミリー安全保護宣言」 研修会【県南地区】開催！！

7月17日（水）県南生涯学習センターにて、『2019暴力・暴言根絶に向けた「サッカーファミリー安全保護宣言」研修会【県南地区】』を第4回目として実施しました。

第1回目の中央地区、第2回目の県東地区、第3回目の県西地区に引き続きまして今回は197名の指導者の方々にお集まりいただきました。

また今回の研修会は、NHK水戸放送局の取材を受けました。放映は7月18日（木）の12：15頃～を予定しております。県南地区は7月30日（火）も開催いたします。申し込みはまだ受け付けておりますので、この機会にぜひ受講ください。



< 第4回【県南地区】研修会 >

主催者あいさつ	：（公財）茨城県サッカー協会 副会長兼専務理事	大和田 健
暴力暴言の根絶に向けて	：（公財）日本サッカー協会リスペクト・フェアプレー委員長	松崎 康弘 氏
これからのサッカー指導	：（株）鹿島アントラーズFC育成担当部長 Jリーグアカデミーダイレクター	山崎 勇次 氏
懲罰規程の改正について	：（公財）茨城県サッカー協会 常務理事兼規律フェアプレー委員長	根本 清史

< 参加者の感想 >

・選手が指導者の言う内容を理解または実践できない事が暴力の原因になっていることから、いつでも誰にでも起こりうることでありと認識し、指導者として常に自分の言葉や行動について気を配らなければならないと改めて考えさせられました。

・暴力、暴言根絶のためには、折に触れて指導者同士のコミュニケーション、保護者や選手本人とのコミュニケーションを密にとっていかなければならないと改めて感じました。

・時代が変わり、子供が変わる中で、大人である指導者だけが置いていかれることが無いようにしないといけない。

・私自身4種に関わっているため、暴言・暴力の事例で4種が多いということを知り、責任の重大さを再認識しました。チーム・地域内に周知、展開していきます。

・チーム内で、コーチ全員で話し合う機会を持ちたいと思います。